

# 平成29年度事業実績報告

平成30年 4月 1日  
脇浜保育園

## 1、 保育園の運営

所在地 貝塚市脇浜3丁目31-8  
定員 80名  
3月在園児数 89名  
(内訳) 0歳児 5名 1歳児 14名 2歳児 16名  
3歳児 16名 4歳児 22名 5歳児 16名  
職員数 園長 1名 副園長兼主任保育士 1名 事務長 1名  
副主任保育士 1名 保育士 17名(育休中1名含む)  
管理栄養士 1名 調理員 4名(株淀川食品所属)  
事務員 1名

## 2、 保育目標

- ・ 体も心も元気な子の育成
- ・ 思いやりのある子の育成

### (1)〔開園時間〕

午前7時～午後7時(保護者の状況により伸縮させる。)

〔基本保育時間〕

午前9時～午後5時

延長時間は午後6時～7時(延長料金徴収)(標準時間認定者)

延長時間は午後5時～7時(延長料金徴収)(短時間認定者)

### (2) 保育の内容

- ・ 各園児の個性や成長に応じた計画を意識し、保育理念、方針を基本とした保育の実践を目指した。
- ・ 園の理念や方針に則った園での日常生活や行事のあり方を全員が深く考え、実行出来た1年であった。特に縦割り保育、異年齢児保育のバリエーションが広がり、子ども達の表情や行動がより一層穏やかになり、どの年齢も、健やかな成長が感じられた。

- ・ 29年度は年長児に関して絵画に意欲を持つ子が多かった為、美術展に応募する機会が多く、結果、皆が切磋琢磨し、やる気を持って自己表現に邁進し、大きく成長をした。
- ・ 体育や英語、習字指導の成果は、運動会や発表会、参観日にて発表した。体育で取り入れている剣道は運動会で披露し、好評を得た。
- ・ 昨年度実現出来なかった、おおぞら保育園との子ども同士の交流はプール遊びや雪遊びをはじめ、数回実施することが出来、又、初回の試みとして、5月に泉南市にて田舎体験（田んぼでの自然遊び）も一緒に体験し、小学校入学に向けての良い足がかりとなった。
- ・ 体育や音楽の実技研修に数名が参加し、他職員に還元した。
- ・ 引き続きキャリアパスに即した研修計画が必要である。平成29年度は育児相談&スマイルサポーター養成研修に、中堅保育士1名が参加し、認定を受けた。
- ・ また食中毒関連の研修を数名の職員が受講し、更に園内研修をベストなタイミングで実施したことにより、有効なノロウィルス対策となった。
- ・ 園外活動を通して、自然との触れ合いを充実させた。また二色ノ浜海岸のクリーンアップ活動や芋掘りにより地域の方々との交流を図った。
- ・ 夏には貝塚いぶき作業所にて年長児が陶芸を体験し、一定期間園内で作品を展示した。
- ・ 3月には西校区の独居の高齢の方々とのいきいきランチの会に参加し、交流をはかった。
- ・ 脇浜町会より招待を受け、3歳児以上の園児が夏祭りに参加し、十日戎の日に全員で福参りをさせて頂いた。
- ・ 平成29年7月中旬より、給食に関して、(株)淀川食品株式会社に委託することで再スタートをきった。また平成30年2月には姉妹園であるおおぞら保育園も同会社との委託をスタートさせたことで、両園の協同メニューづくりは少しずつだが前に進んでいる。給食委託を始めたことで、人材についての

様々な苦悩がほぼなくなった認識である。

- ・年度後半は、幼保連携型認定こども園移行に際しての申請書類づくりに苦慮した。(9月に広域による、法人と施設の指導監査があり、監査用と認定こども園用、それぞれの年度を分けて整理して、複数回作成する必要があった為。)
- ・幼稚園免許取得について、1名が取得し、もう1名については全単位取得が、更に次の年に持越しとなった。新たに2名が30年度での取得に向けて講習の申込を行った。
- ・今年度も中学生の職業体験や短期大学の実習生、高校生の職業体験を受け入れた。
- ・サクラシステムをフル活用希望だが、管理会社であるエステムの都合により、操作やシステムの不都合、更にパソコン本体の不具合等について、解消に時間と料金がかかるようになってしまっている。
- ・園児の保育必要時間が昨年度に比べ月内での変更や遡っての変更がより一層頻繁になり、作業や操作に工夫や人手が必要だった。
- ・2歳児(加配児)の件は保護者や祖母へのアプローチに苦慮した1年だった。
- ・保育士の処遇改善加算は今年度も実施された。
- ・保育士の処遇改善加算が新設され、1月の給与から各職員に手当として支給した。(平成29年4月分まで遡及し、支給した。)
- ・保育士2名が年度末での退職の意思を夏に表明した為、10月に短期大学生の採用試験を行い、新卒保育士2名を採用した。
- ・遊具や砂場の保守点検業務について(株)ビティと契約し、順調に進んでいる。
- ・施設の環境整備や書類のデータ化等は担当保育士が担い大きく前進している。
- ・園の方針に則り、各クラス内での保育のみにとどまらず、各自、任された担当業務を遂行し、みんなで力を合わせた業務を実践する事が出来た。

研修実績報告は別紙の通り。

### (3) 保育担当

- ・ 担当保育士を定め、園長は総括指揮をとった。
- ・ 事務長は運営事務に関する総指揮をとった。
- ・ 職場研修を積極的に推進した。
- ・ 管理栄養士、調理員、安全指導員の配置等で、子どもの安全、健康づくりを図った。

### 3、 保育設備

園舎 …… 前年度と同様、美化に努めた。

園舎壁直付け看板を業者に作成し、設置。

隣民家解体跡土地を購入し、購入後の土地に砂を搬入。

プレハブ横水道工事

備品 事務所パソコン XP を廃棄。新たなパソコンを 1 台設置。

送迎時のタッチパネル用パソコン 1 台修理。

ビジネスフォン導入。

保育士業務省力化の為、カメラや USB を購入。

ひよこ組に正方形マットを購入

ひばり組に園児用木製ロッカーを購入。

調理室にスチームコンベクションを 2 台購入。(今迄は 1 台)

延長保育利用児用絵本を購入。

こども園移行に伴い既存の園看板を一部修正。

こども園移行に伴い園長印やゴム印の作成、購入。

電子ピアノ、CD デッキ、調理食器を、父母会の補助も一部受け、購入。

### 4、 資金の計画

委託費収入と補助金収入をもって収支均衡を図った。

### 5、 その他

引き続きインターネット関連の業務、安全防犯対策として機械警備、園児送迎時の案内業務の委託を行う。

以上

脇浜保育園

園長 山田尚子